あらゆるニーズにお応えする総合印刷企業。
株式会社 ナガノ
●凸版、オフセット、シルクスクリーン、シール、ラベル印刷機による感圧性接着紙及び一般紙の印刷加工。
●ノベルティ、プレミアムなどのプラスチックスによる製造加工。
tel. 03・3861・1391 代表 03・3851・4734
http://www.nagano-printing.co.jp/

NO. 1077 1・15日発行
平成26年（2014年） 6月 1日（日）
発行所 ラベル新聞社
東京都千代田区東神田3-1-13
神田浅草橋ビル 〒101-0031
電話(03)3866-6577 FAX(03)3866-0105
http://www.labelshimbun.com
編集・発行人 田副 徹
年間購読料16,200円 1部 680円（税込）

ラベル新聞

THE LABEL SHIMBUN
©ラベル新聞社2014
【昭和44年9月30日第三種郵便物認可】

O'TEC Co.,Ltd
ホログラム・レンチキュラー・特殊プラスチックフィルム
株式会社 オーテック
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-13-1
シルクーロ代官山1F（ギャラリー）2F（オフィス）
Tel:03-5489-7187 Fax:03-5489-8077
URL:www.net-otec.com

デジタル印刷機市場

IJ方式の成長、顕著に

「SurePress」販売累計100台達成

ラベル向けインクジェット（IJ）印刷機を世界市場でリードする「SurePress」（セイコーエプソン製）の世界累計販売台数がこのほど、100台に到達した。ラベル向けのデジタル印刷機は、1995年に電子写真（EP）方式が先行して登場。IJ方式では、07年に海外メーカー機が、10年には国内メーカー機が相次いで発売され、2013年の世界市場における累計設置台数は2300台（本紙推計）に達している。14年の同2750台（予測）をベースにした過去5年間の年平均成長率は、デジタル印刷機全体が18%の中、EPは12・7%、IJが49・6%となっており、IJ方式の成長が顕著に。中でもセイコーエプソンの「SurePress」は水性顔料インクによる品質の高さで、IJデジタルラベル印刷機のシェア拡大をけん引する格好となっている。

（2面に関連記事）

SurePressは10年に「同L-4033A」の販売を開始して以降、着実に累計販売台数を伸ばし、12年にはホワイトインク搭載の「同L-4033AW」を投入。発売から3年半で100台の大台を達成した。独自開発の水性顔料インクによる高画質性に加え、ホワイトインクモデルの発売が、販売増の起爆剤となった格好だ。販売台数の内訳で4割を占める国内はもとより、欧米や台湾など全体の6割となる海外市場での好調な販売ぶりが、IJ方式の設置台数世界1位のEFIに迫る要因となっている。

100台目のSurePressを設置したのは、長野市に本社を置くラベル印刷会社の㈱カナエ（志川孝之社長）。5月28日に同社で、世界累計販売台数100台達成のセレモニーが催され、セイコーエプソンから志川社長に感謝状と記念品が贈呈された。

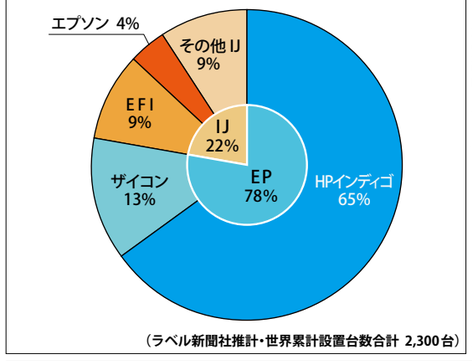
同セレモニーで、セイコーエプソン インダストリアルソリューションズ事業部の北原強副事業部長は次のように述べた。

「SurePressは08年に当社のI（インダストリアル）プロジェクトで商品化され、10年に発売。世界市場で安心して稼働していただけるIJ印刷機となったことを受け、昨年4月にはIプロジェクトも、インダストリアルソリューションズ事業部に変更した。これは、各ソリューションをユーザーへ提案する場面へと移行したことを表している。今回の販売台数100台達成を機に、安定稼働はもちろん、顧客の利益創出を可能にする戦略機となるよう、グループ一丸となって徹底したサポート体制を敷いていく」

一方、セイコーエプソンの本社がある長野県で、記念すべき100台目の導入企業となったカナエの志川氏は「社長に就任して今年で5年目。迷いながらも次の何かをずっと追い求めてきたが、SurePress導入をその最初の一手と位置付け、コンベンショナル機とは概念のまったく異なるデジタル印刷機で、新たな可能性を模索し社員とともにそれを具現化していきたい」と述べた。

なお、エプソン販売㈱は7月22日㈫、23日㈬に千代田区丸の内の東京国際フォーラムで開催される「ラベルフォーラムジャパン2014」（ラベル新聞社主催）で、従来機種の水性IJ機に加え、UV方式の新型IJデジタルラベル印刷機を、国内で初披露する予定にしている。

「SurePress」を背に、記念品を贈呈される志川社長（左）。右はセイコーエプソンの北原副事業部長



今号で『創刊45周年』

業界唯一の公器として

左はラベル新聞の創刊号1面。1969年6月1日、本紙は誕生した。

紙面をめくると『普及著しい粘着ラベル・伸びる一方の需要量』『粘着剤の改良急テンポ』『現代の花形』の見出しが躍る。決して創刊の勢いを借りた美辞麗句ではない。7月1日号で粘着紙は2500万平方㍍、24億円といずれも前年比約20ポイント増の大幅な上昇を報じる。高度経済成長の第二期のただ中、印刷産業に従事するわれわれは上だけを見ていた。

それから45年。わが国の印刷産業は岐路に立っている。一般印刷に対して特殊印刷とマイノリティーだったシール・ラベルは今、〝情物一致〟の特異性と高度な〝抜く・貼る・巻く〟加工技術で一線を画し、独自の立ち位置を確立し始めた。〝斜陽〟の海原に漕ぎ出す航海士の一縷の指標として、この先も業界唯一の公器として責務を全うし、シール・ラベルと印刷産業の発展に奉じる所存だ。

ミマキエンジニアリング

主力IJPを刷新

カット付き新機種も来春発売

ミマキエンジニアリング（長野県東御市滋野乙、小林久之社長）は5月15日、インクジェットプリンタ（IJP）の新機種「JV300-130/160」を発表。近日中に発売する。サイングラフィックス市場向け主力機種「JV33シリーズ」の後継で、価格を据え置きながら印刷品質や速度を向上した。

新開発のプリントヘッド2基を1セットとして用いるスタガ配列の採用で、印刷速度は最大毎時105・9平方㍍（同160）と、従来のおよそ2倍に。7段階の液滴制御「バリアブルドット」や、バンディングを軽減するインク吐出パターン、着弾したインクの広がりを防ぐ乾燥機構などの採用で高い印刷品質を実現した。また、溶剤系インクは新たにライトブラック、オレンジを用意し、全9色で展開。8本を装着するインクカートリッジの組み合わせは、印刷速度重視、高精細・高彩度、白搭載の3タイプから選択できる。また、全6色の昇華転写インクも2種類の配色で選択することが可能。

価格は、最大印刷幅1361㍉の「JV300-130」が190万円、同1610㍉の「同160」が220万円（いずれも税別）。カット機能付きでラベル市場に導入の多い「CJV30シリーズ」も、今回と同様の改良をした後継機種が来春までに発売予定となっている。問い合わせは同社（☎0268・64・2581）まで。

新機種「JV300-130」

エコマグ®
〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町4-5-24
☎ 048-465-2140
Prepress for seals
株式会社 フナミズ刃型製版

紙面から

決算報告、印材部門好調
リンテック ― 2
インタビュー
カナエ ― 2
個人情報保護シール新開発
野本商会 ― 2
関連団体が総会 ― 3～5
Business now scene#22
丸天産業 ― 7
テーブルトップショー企業発表
ラベルフォーラムジャパン 2014 ― 8

ハイ・アングル

先日訪れた展示会で、チョウのような形をした見慣れないシールが大量に売られていた。担当者に聞くと「それはフォームです」。帳票を思い浮かべる名前だが、さにあらず。樹脂盛りで人工爪を成形する際の土台として指先に付けるシールを、ネイル業界ではそう呼ぶそうだ▼左右にある〝羽〟の先を貼り合わせて筒状にし、指に巻くようにして使う。爪が露出するよう、中央部には楕円形のハーフカットが施されているが、剥離紙に円く残る部分も、補強材としてフォームの裏に貼る。表面には格子が印刷され、人工爪のサイズを決める目盛りになっている。ラベルとしてはごく一般的な製法と素材なのに、まるでこのために開発したようなマッチングは見事。同じ機能をもし他の技術で果たそうとしたら、手間とコストは跳ね上がったに違いない▼国内での印刷加工は成熟したかに見えるラベルの世界にも、可能性はまだまだ眠っているようだ。ある経営者は「ラベル印刷用の既存設備で、自動車部品を作れることが最近分かった」と語る。知人を介した依頼を受け、当初は畑違いに思えたが「他業種の設備では難しかったらしい。困っていたせいか、単価は普通のラベルとはケタ違いだ」と胡かす▼手持ちの設備と技術が新たな仕事を生むと聞けば、探し回った幸せの青い鳥が実は自宅にいたという有名な話を思い出す。メーテルリンクの原作では、病気の娘がいる隣人に頼まれて鳥を見せたときに初めて「青くなっていた」ことに気づく。鳥を見た娘の病はたちまち回復したが、かごの鳥はエサをやろうとした瞬間に逃げていってしまい、話は終わる▼探す気にさえなれば、ビジネスの種は身近にある。ただ、発見の決め手は他の誰かが与えてくれるものなのだろう。いったんモノにしたら固執は無用だ。さて、御社の「青い鳥」は何だろうか。

ラベルフォーラム2014

講演者の横顔

仕事とラベルと

企画課 課長
笠谷 清豪（せいごう）氏

大阪シーリング印刷

顧客を驚かすアイデアを

ラベルフォーラムまであと51日

「ラベルフォーラムジャパン2014」（ラベル新聞社主催）が7月22日㈫と23日㈬の2日間、東京国際フォーラムで開催される。このコーナーではイベントの柱の一つコンファレンスの講演者に対し、自分の仕事とラベルの関わり合いなどを聞き、講演の背景に迫る。今回は、大阪シーリング印刷㈱企画課課長の笠谷清豪氏が語る。（中村）

私はグラフィックデザインが専門で、現在、デザイン部門の責任者をしています。

当社には100人のラベルのデザインなどを担当する制作者が在籍しています。私が勤務している八尾管理センター（大阪府）の大阪企画課がもっとも多く、このほか、東京企画課や主要な営業拠点にもデザイナーがいます。

ラベルをはじめ軟包装やPOP、パッケージなどのデザインを行っており、クライアントの要望に沿ったデザインを制作する事が主な業務です。

中でもラベルはポスターやパンフレットなどのデザインと異なり、他の分野にはない特殊なスキルが必要とされます。

これは印刷機が特殊という事情が大きく関係しています。商業印刷では最も使用されているのがオフセット輪転機ですが、ラベルでは凸版の平圧や間欠機、輪転機が多く、これらの印刷機に合わせたデザインが求められます。

また、その性質上、表面積は小さく、その中で「商品の特徴」を語らなければなりません。デザイナーはここに知恵を絞り、頭を使っています。一般的なデザイナーでも、ラベルの制作をしたことがない方では、バランスのとれた訴求力のあるデザインを作ることは難しいと思います。

ラベルデザインはクライアントからの要望をさまざまで、営業が商談に行き、内容をデザイナーに話しても、うまくニュアンスを伝えきれない場合があります。

このため、当社ではセールスクリエーターという職種を設け、この問題をカバーしています。

彼らは、クライアントのもとを訪れ、直接打ち合わせを行い、要望を聞き、提案を行います。このため、商談がスムーズに進み、よりよい製品を提供できるのです。

もちろん、営業担当者が持っている紙や粘着剤、刃型などの知識も、同じように頭に入っていなければ、スムーズな進行はできません。この職種は非常に大変ですが、やりがいのある仕事です。

このデザイナーとセールスクリエーターを統括するのが私の役割です。

私自身がデザインで常に心がけているのは、お客さまに驚いていただくこと。これはグラフィックの部分だけではなく、機能性などラベルの本質部分も含めてです。

例えば、ラベルが貼られる商品が流通の過程で冷やされるのであれば、結露が考えられます。ならば水にぬれても剥がれない粘着紙を、こちらから先に提案するのです。お客さまは「こんなものがあったのか」と驚かれますし、喜んでいただくことが多く、商談も大いに盛り上がります。

この驚かすアイデアの一つが、今回のセッションで紹介する拡張現実（AR）という技術です。

ARというと、QRコードなどの2次元コードをきっかけにスマートフォンなどで動画が再生されるというイメージが強いですが、機能はこれだけではありません。

私はこの技術をイベント性が高く、手軽な金額で行えるプロモーションとして、非常に有望であると思っています。そのアクセスのきっかけとしてラベルが多く使われるとも考えています。

講演ではARの基本的な機能から、当社での開発の経緯、受注事例を紹介し、今なぜ印刷会社がARに取り組むのかを解説します。

さらに当社AR事業の将来的な姿もお話しできればと考えています。

【講演日程】23日㈬午後1時30分～（コンバーターセッション）

http://www.labelforum.jp

廃業・譲渡など事業継承をご検討の経営者の皆様ご相談下さい
（株式会社・有限会社・個人OK）
シール・ラベル印刷経験者募集中
中古印刷関連機械の買取り・片付け
ご不用になったシール印刷機・軽オフセット機・製本機等がございましたら、ご連絡下さい。
（株）ミクロ・アイ 担当：鈴木
〒130-0014 東京都墨田区亀沢 4-16-7
TEL03-5608-2981 FAX03-5608-2850

私ども王子タック株式会社は、タック紙・粘着テープなど
粘着関連製品の総合メーカーです。

製品一覧
[紙タック]
■再生紙タック
OKタックグリーン200
■再生可能タック
OK-RCタック
■微粘着タック
OK-リアタック
■塗工紙
キャストコート紙
アート紙・コート紙
■上質紙

[フィルムタック]
■PPクリーンタック透明・蒸着
■PET透明・蒸着
■合成紙ユポ
■オーバーラミネート用
PET・OPP

[特殊グレード]
■情報記録用タック
感熱タック、ユポ感熱タック、
インクジェット、ユポインクジェット、
PPC、熱転写用紙、レーザー記録用紙
■擬似接着製品

[粘着テープ]
■クラフトテープ
リサイクルテープ、エコテープ、
■PPテープ
#600、#400、イージーカットテープ
■アルミテープ
■セロハンテープ
■クロステープ

[加工品]
■ポリエチレンラミネート紙
■剥離紙
■工程用剥離紙
■ユポコート
■簡易カイロ用不織布
■磁気記録紙
■スクリーン製版用感光乳剤

※その他、色々な製品を取り揃えていますので
ご遠慮なくお問い合わせください。

王子タック株式会社
www.ojitac.co.jp
本社 〒104-0061 東京都中央区銀座5-12-8 王子ホールディングス1号館
TEL.03-3248-3450（代）FAX.03-3248-3470
名古屋支店 〒461-0025 名古屋市東区徳川1-14-1 王子不動産徳川ビル
TEL.052-930-3520（代）FAX.052-932-7320
大阪支店 〒660-8577 尼崎市常光寺4-3-1
TEL.06-6488-3800（代）FAX.06-6488-3912
福岡支店 〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-9-1
TEL.092-472-0202（代）FAX.092-472-0231